

CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月13日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が16日に発表した建玉報告によると、13日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の買い越幅は1万9976枚となり、前週比1126枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションをより多く増やしていた。

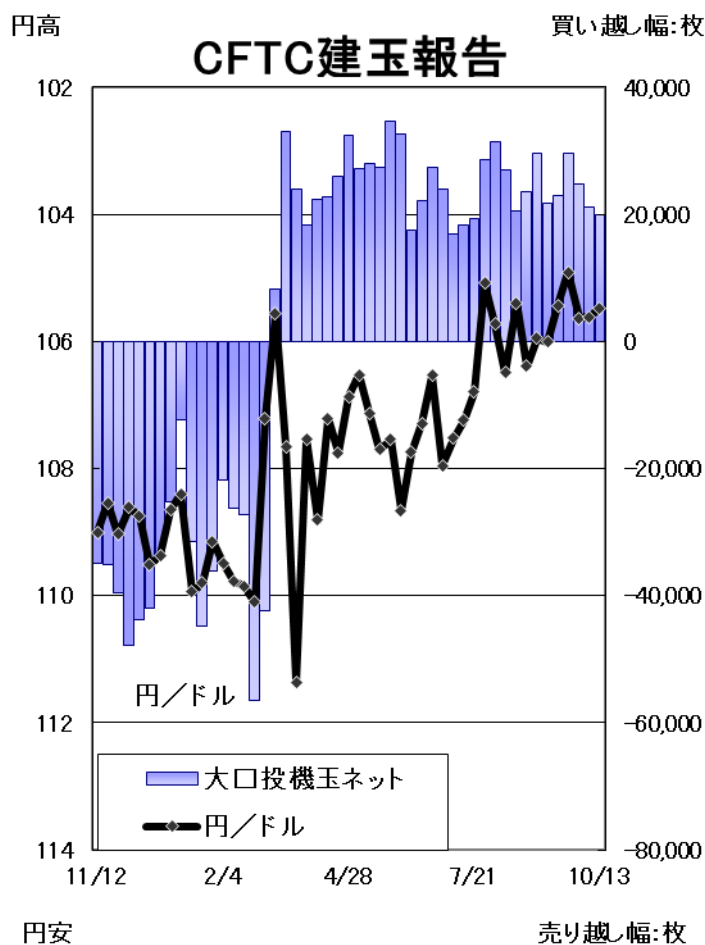
期間中の円(対ドル)は上伸。米大統領選で民主党のバイデン候補が支持率のリードを拡大との世論調査結果を受け、同候補が勝利すれば大規模な財政出動が打ち出されるとの思惑や、新型コロナウイルス経済対策をめぐる与野党協議の難航を眺め、円を含む対主要通貨でドルが売られた。

また、国際通貨基金(IMF)は13日、最新の世界経済見通しを発表し、2020年の世界成長率をマイナス4.4%と、6月時点の予測(改定後)から0.8ポイント上方修正した。新型コロナウイルス感染拡大を受けた先進国と中国の景気悪化に歯止めがかかったことが背景。ただ「回復は長く険しい」と警告し、経済損失が25年までに計28兆ドル(約3000兆円)に達すると試算した。発表を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まると共に、安全資産として円が買われて上伸した。

期間中のユーロ(対ドル)は小幅高。大口投機筋の買い越幅は16万8637枚となり、前週比5671枚縮小。

英国と欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)の交渉の行方の不透明感が強いことや、米大統領選を巡る思惑から全般的に様子見姿勢が強く、調整主導の動きの中、小幅なユーロ高ドル安に留まった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
06/16	107.29	22,110	1.1262	117,132
06/23	106.53	27,458	1.1306	118,448
06/30	107.95	23,861	1.1232	98,955
07/07	107.52	16,812	1.1271	103,597
07/14	107.24	18,326	1.1399	110,912
07/21	106.79	19,307	1.1523	125,047
07/28	105.08	28,507	1.1716	157,559
08/04	105.73	31,429	1.1798	180,648
08/11	106.49	27,016	1.1738	199,751
08/18	105.39	20,584	1.1934	196,943
08/25	106.39	23,616	1.1835	211,752
09/01	105.95	29,604	1.1910	196,747
09/08	106.01	21,742	1.1779	196,814
09/15	105.43	22,889	1.1845	178,576
09/22	104.91	29,581	1.1706	190,822
09/29	105.64	24,789	1.1742	188,116
10/06	105.62	21,102	1.1734	174,308
10/13	105.47	19,976	1.1744	168,637
前週比	-0.15	-1,126	+0.0010	-5,671



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員
当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266(平日 8:30~17:00)、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。